

平成30年度寄附金活用実績報告書

事業名	難病患者就労支援等事業
寄附受入額	金1,500,000円
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1. <u>難病患者の就労支援事業</u> ■期間：2018年4月～2019年3月 ■事業の要旨 関係機関と連携しながら難病患者の就労支援を行い、就労後も定着支援を行った。 また、就労登録事業所への企業訪問などを行った。 年間実績：20名、企業訪問110社</p> <p>2. <u>災害時における難病患者や障害者、高齢者等の災害弱者に対する防災意識の普及啓発事業</u> ■事業の追加に至る経緯 佐賀では災害はないという声が至るところで聞かれたため、大規模災害を想定した避難訓練を通じて、日頃の準備の必要性や緊急時の対応方法を考えておくことが必要だとの考えから、災害時の体制についても事業を行うこととする。 ■期間：2019年 秋～冬 ■場所：佐賀市内(現在、調整中) ■主催者：佐賀県難病支援ネットワーク ■参加者：佐賀市内の地域住民、防災士、佐賀市消防防災課・障害福祉課、難病患者や障害者等 ■事業の要旨 災害弱者の方々に災害アプリを広く活用してもらい、行政や防災士等専門家と協働で地域単位での避難訓練を行う。 難病患者や障害者高齢者等の災害弱者の方々に、災害時における自助の大切さを実感してもらうために、一緒に避難経路を歩き、避難所の運営や生活等を体験して、防災意識を高める啓発事業を行う。</p>	
事業実施の成果・効果(見込み)	
<p>※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 難病患者が地域で配慮を受けながら就労できる環境ができることにより、誰に対しても優しい企業等成熟した社会の構築が期待される。・ 就労登録事業所を開拓することにより、次回も難病患者を雇用したいという企業の意欲を高め、定着支援にもつながることが期待される。・ 災害弱者が二次災害で亡くなる割合が高いため、いざというときに受援力を身に着けることができるようになり、被害の最小化が期待できる。・ 行政や関係機関との連携の重要性等の確認ができる。	

収 支 決 算 書

事業名		難病患者就労支援等事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1,500,000	
	収入計	1,500,000	
支 出	謝金	20,000	災害アプリについての講演
	旅費	9,877	在宅就労患者宅訪問、企業訪問交通費
	印刷製本費	26,622	チラシ発行印刷費
	消耗品費	9,584	用紙代等
	使用料・賃借料	0	
	研修費	127,000	センター研究会発表旅費(就労、及び災害支援について)
	次年度への繰越金	478,758	
	返礼品の調達に係る費用	826,969	返礼品支払
	返礼品の送付に係る費用	1,190	高額寄附者への感謝状郵送料等
	広報に係る費用		
事務に係る費用			
支出計	1,500,000		

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。